参考資料４

「戸別収集についてのひとこと」意見募集結果（令和8年10月31日時点）

▶ 調査概要

- 調査目的　本市における”戸別収集のあり方”を検討するための基礎資料とする。
- 調査地域　茅ヶ崎市内
- 調査対象　調査地域内の世帯及び事業者
- 調査方法　市ホームページで回答フォームを公表し、回答フォームによる回答
- 調査期間　令和8年8月13日㈭から
- 回収結果　30件
- 調査内容　回答者属性、日頃のごみ出しでお困りのこと、ステーションの維持管理でお困りのこと、戸別収集を導入することで期待すること、戸別収集を導入することで懸念すること、戸別収集の導入検討に関する事業全般でお気づきのこと

▶ 回答者属性

・ 居住地域

① 茅ヶ崎地区	1 件	② 茅ヶ崎南地区	1 件
③ 海岸地区	2 件	④ 南湖地区	1 件
⑤ 湘南地区	1 件	⑥ 鶴嶺東地区	11 件
⑦ 鶴嶺西地区	1 件	⑧ 松林地区	1 件
⑨ 小和田地区	2 件	⑩ 松浪地区	4 件
⑪ 浜須賀地区	2 件	⑫ 湘北地区	2 件
⑬ 小出地区	1 件		

・ 自治会加入状況

① 加入している	30 件	② 加入していない	0 件

・ 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況

① 参加している	27 件	② 参加していない	3 件

▶ 日頃のごみ出しでお困りのこと

主な意見は、次に示すとおりである。

- 早朝のごみ出しに対応するのが困難である。
- 自宅からステーションまでの距離が遠い高齢者にとっては、ごみ出しが困難となっている。
- ごみの分別が分かりづらく、悩むことがある。
- 特に困っていない。

▶ ステーションの維持管理でお困りのこと

主な意見は、次に示すとおりである。

- ごみ出しルールを守らない方の不適正排出や通りすがりのポイ捨て、不法投棄などへの対応で困っている。
- 啓発シールが貼られた不適正排出物が残置し続けていることに困っている。
- 清掃当番が機能していおらず、一部の方に負担が偏っていて困っている。
- 分譲地の開発や住宅の建築とステーションの設置が連動していないため、利用者調整などが困ってい

▶ 戸別収集を導入することで期待すること

主な意見は、次に示すとおりである。

- ごみへの関心が高まる。
- 排出者責任が明確することを期待する。
- ごみの減量化を期待する。
- ポイ捨てされる件数やごみの量の減少を期待する。
- 他人のごみの始末がなくなることを期待する。
- 一部の方に偏っていた負担がなくなることを期待する。
- ステーションの利用者調整や設置場所の調整などの負担が軽減されることを期待する。
- 身体が不自由な方や高齢者などのごみ出し負担が軽減されることを期待する。

▶ 戸別収集を導入することで懸念すること

主な意見は、次に示すとおりである。

- 収集運搬費用が追加でかかってしまうことを懸念する。
- 収集職員への負担の増加を懸念する。
- プライバシーや防犯面への影響を懸念する。
- 通りすがりのごみ出しを懸念する。
- 鳥獣被害を懸念する。
- 排出者が責任をもってごみを管理してくれるか懸念する。
- 収集漏れを懸念する。
- 特にない。

▶ 戸別収集の導入検討に関する事業全般でお気づきのこと

主な意見は、次に示すとおりである。

- 戸別収集による恩恵を一部の地域だけが受けているが、全地域が同時かつ平等に受けられるべきである。
- ごみに関する問題のほとんどは、戸別収集の導入で解決できる。
- 近隣の自治体で戸別収集が導入されている中、茅ヶ崎市の対応が遅い。
- 現在実施している地域のほか、他の地域でも戸別収集実験事業を実施して欲しい。